

2020年11月2日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

製造業の業況、10月は安定へと推移

主な動向

生産高と新規受注数の減少の勢いは小幅

新規輸出受注、2018年11月以来はじめて増加

景況感は2017年7月以来の最高値を記録

2020年10月のデータ収集期間：2020年10月12日～23日。

10月のPMI®最新データは、日本の製造業全体でさらに業況が安定してきたことを示した。調査回答企業は、勢いこそ緩やかだったとはいえ、生産高と新規受注数に減少があったことを報告した。生産高や顧客需要にCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の悪影響を受けていることを引き続き報告する企業もあった。しかし、海外市場が徐々に回復しつつあるため、日本の製造業に対する外需はここ2年間で初めて増加した。製造業では今後1年間の生産高が増加していくという楽観的な見方が大きく広がっている。多くの企業が、新型コロナウイルス感染症が収束し、コロナ禍以前の需要に戻ることを期待しているためだ。

10月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI®)(製造業の全体的業況を表す指標)は、9月の47.7から48.7へと向上した。製造業全体の健全性がさらに悪化していることが指摘されているものの、縮小率でみれば若干で、1月以来最も小幅の勢いである。最新の数値は第2四半期にコロナ禍が世界的にピークを迎えていた頃と比較すれば稼働状況悪化の勢いは顕著に緩やかになったことを示している。

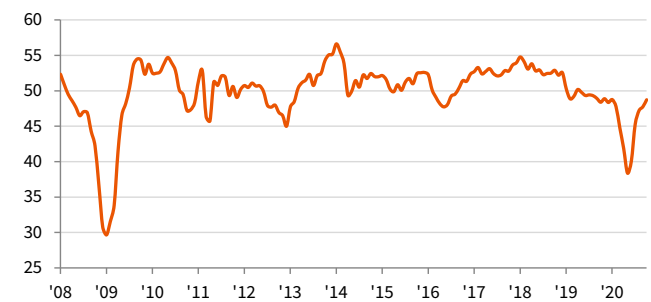
上昇した指数は生産高と新規受注数の減少の勢いが弱まったことに裏付けられている。直近の生産高の縮小率は若干で、勢いは2019年11月以来最も小幅だった。しかし、現状の弱含みはコロナ禍を要因に指摘する企業もあり、22か月連続して減少の傾向が続いている。

同様に、新規受注数は縮小状況に留まっており、商況の低迷が引き続き日本の製造業の全体的な新規受注数を圧迫している。しかし、減少は若干で、勢いは2019年7月以来最も小幅だった。新規輸出受注は一方で10月にここ2年で初めて増加を記録した。調査回答企業は、海外市場の需要、特にアジア太平洋地域で回復していることを要因として指摘した。

しかし、雇用が9月に一旦安定に向けたものの、10月は加速する勢いで減少した。企業は一樣にコロナ禍で需要が減ったことをその主な

(次頁に続く)

auじぶん銀行日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「10月のPMIデータでは、日本の製造業全体で低迷の状況にさらに改善がみられた。生産高と新規受注数の減少が小幅だったと調査回答企業から報告を受けての結果である。中国などの主要な海外市場の需要が戻ってきていることもあり、日本の製造業は新規輸出受注の回復で一層活気づくだろう。

しかし、日本の製造業は10月に雇用状況の悪化を報告。従業員数が9月と比較して加速する勢いで減少したためだ。高齢化問題が続いていることが日本の労働市場の足かせとなっているが、直近の雇用縮小はコロナ禍により悪化しているもので、希望退職等で雇用を離れた人員が補充されていない実態がある。

10月の心強い調査結果は、楽観的な業況見通しが持続的に改善したことである。調査回答企業のおよそ38%が今後12か月で生産高が増加すると予測しており、その結果、ここ3年間でもっとも高い指数となった。」

要因に指摘した。日本の製造業には生産能力の余剰が見られた。勢いは1月以来最も小幅だったものの、受注残が22か月連続で減少しているためだ。

生産高と新規受注数の減少を受けて、10月は購買活動もさらに減少した。9月と比較して減少は小幅だったものの、縮小の勢いは全体的に大きかった。調査回答企業は、サプライヤー納期の長期化により原材料と購買品の調達に難しかったことを指摘した。さらに、原材料と完成品在庫両方の在庫が10月はさらに減少した。

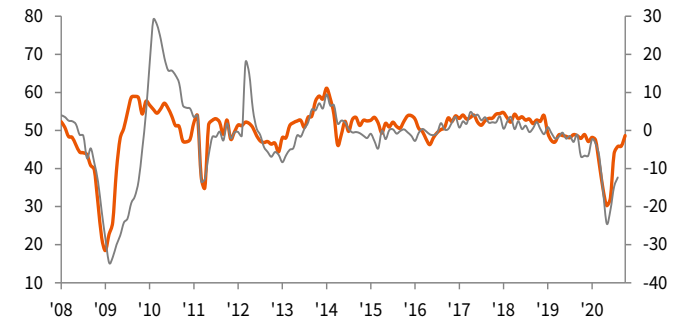
10月は購買価格の値上がりが強まった。全体としては若干だったとはいえ、1月以来最も大幅だった。このことについて、調査回答企業は平均間接費の増加と原材料や輸送費の値上がりを要因に挙げた。平均間接費は一方で1月以来初めての増加となる。企業が購買価格の増加の一部を顧客に転嫁したためだ。

今後12か月の業況の見通しは10月、さらに改善が見られた。生産高への期待は2017年7月以来最も高い指数が示された。新型コロナウイルス感染症が収束し、コロナ禍以前の需要に戻ることに希望が反映された形だ。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1344 328 370
usamah.bhatti@ihsmarkit.com

Bernard Aw
プリンシパル・エコノミスト
IHS Markit
電話: +65 6922 4226
bernard.aw@ihsmarkit.com

Katherine Smith
パブリックリレーションズ
IHS Markit
電話: +1 781 301 9311
katherine.smith@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者へ毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2020年10月のデータ収集期間: 2020年10月12日~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらえたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE: INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2020 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI)」、調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。